

問1	イギリスの探検家イザベラ・バードが執筆した『日本奥地紀行』において、彼女がその独自の文化や風習を高く評価し、記録の主な対象とした地域と民族の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2024年 栃木県公立入試 類似）			
	1. 小笠原諸島の欧米系島民	2. 北海道のアイヌ民族	3. 鹿児島県の薩摩武士	4. 沖縄県の琉球民族
問2	日本の外交政策において重視されている「人間の安全保障」の理念について説明した文として、最も適切なものはどれか。 （2023年 栃木県公立入試 類似）			
	1. 開発途上国の天然資源を優先的に確保し、自国の経済成長を安定させることを主目的とする考え方。	2. 軍事力を強化することで、外部の武力攻撃から国家の主権や領土を守ることを最優先とする考え方。	3. 一人ひとりの人間を多様な脅威から守るとともに、その人が能力を十分に発揮できるよう支援する考え方。	4. 特定の同盟国とだけ軍事的な協力関係を強め、周辺地域における勢力均衡を保つことで平和を実現する考え方。
問3	日本の諸都市の気象統計において、1月の平均気温が約5度、8月の平均気温が約28度と夏冬の寒暖差があり、降水量は梅雨の時期と秋にピークが見られるものの、冬の降水量は年間でも最少ない水準となる都市はどこですか。 （2022年 栃木県公立入試 類似）			
	1. 大阪市	2. 札幌市	3. 鹿児島市	4. 新潟市
問4	近年、多くの観光客が特定の地域に集中することで発生する「観光公害」が問題となっています。この観光公害によって生じる「生活上のデメリット」の具体例として、最も適切なものはどれですか。 （2024年 栃木県公立入試 類似）			
	1. 観光客へのサービス向上のために、地域住民が新しい言語や文化を学ぶ機会が強制的に増やされること。	2. 公共交通機関の混雑により、住民が通勤や通学のためにバスや電車を日常的に利用することが困難になること。	3. 観光客向けの土産物店が減少することで、地域の伝統的な産業が衰退し、失業者が増加すること。	4. 観光関連の税収が増加することで、地域の公園や道路などの公共施設の整備が急速に進むこと。
問5	明治、大正、昭和へと続く近代日本の歩みにおいて、明治時代の幕開け直後（明治初期）に明治天皇が発表した、新しい国家建設の基本方針を何と呼びますか。 （2022年 栃木県公立入試 類似）			
	1. 王政復古の大号令	2. 教育勅語	3. 日本国憲法	4. 五箇条の御誓文
問6	地球の表面積において、陸地と海洋の面積の割合を比較した数値として、海洋が占める割合に最も近いものはどれですか。 （2024年 栃木県公立入試 類似）			
	1. 約30パーセント	2. 約70パーセント	3. 約10パーセント	4. 約50パーセント
問7	市場経済の仕組みにおいて、公正な競争が行われなくなるとどのような弊害が生じると考えられますか。また、それに対して国が行っている対策の説明として最も適切なものを選んでください。 （2024年 栃木県公立入試 類似）			
	1. 特定の企業の製品が売れすぎることによって他社が倒産し失業者が増えるため、経済産業省が各企業の生産量を割り当てて調整している。	2. 企業の利益が過度に増えることで景気が加熱しすぎるため、日本銀行が政策金利を引き上げることで企業の経済活動を抑制している。	3. 価格競争がなくなることによって、価格が高止まりしたりサービスの質が低下したりするため、公正取引委員会が企業の不正な契約を監視している。	4. 安売り競争によって企業の経営が悪化し、製品の安全性が損なわれるため、消費者庁がすべての商品の最低価格を決定している。
問8	第二次世界大戦後の農地改革において、政府が地主から耕地を強制的に買い上げ、それを実際に耕作していた小作農に安く売り渡した仕組みが導入されましたが、この改革の背景にある目的として最も適切なものはどれですか。 （2026年 栃木県公立入試 類似）			
	1. 国家総動員法に基づき、戦争継続に必要な農産物を効率的に徴収するため	2. 自作農を増やして、農村における封建的な人間関係を打破し民主化を促すため	3. 全ての土地を国有化することで、政府による食糧配給制度を完全に管理するため	4. 地主の権限を強めることで、農村から都市への急激な人口流出を食い止めるため
問9	明治初期、事件の内容を絵と文章で伝える「互版」は、明治10年に起きた西南戦争の様子を人々に伝える役割を担いました。この西南戦争が起きた背景や、当時の社会状況の説明として、最も適切なものはどれですか。 （2023年 栃木県公立入試 類似）			
	1. 日韓議定書の締結により、日本軍が韓国の領土を軍事的に利用できるようになったことに対し、現地の人々が激しく抵抗した。	2. 秩禄処分や廃刀令によって特権を失った士族たちの不満が、西郷隆盛を担ぎ出す形で爆発した。	3. 下関条約によって遼東半島の割譲が決まったが、ロシアなどの三国干渉により返還を余儀なくされ、国民の不満が高まった。	4. アヘン戦争によって清が敗北したことが日本に伝わり、欧米列強の脅威に対抗するために幕府が軍制改革を急いだ。
問10	明治時代にイザベラ・バードが行った北方調査と、その著書『日本奥地紀行』が歴史的に重要視されている理由について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 （2024年 栃木県公立入試 類似）			
	1. 明治政府の要請により、北海道における屯田兵の入植制度や農業近代化のための技術指導の内容をまとめたから。	2. イギリス政府の密命を受け、ロシアの南下政策に対抗するための軍事拠点として北海道を視察し、詳細な地図を作成したから。	3. 明治政府による同化政策や開拓が進む中で、変容する前のアイヌ民族の伝統的な生活様式を外部の視点から記録したから。	4. 琉球処分後の沖縄における教育制度の改革案を提示し、日本の近代教育の基礎を築くための提案を行ったから。
問11	1967年に公害対策基本法が制定されるに至った、当時の社会的な背景を説明した文として、最も適切なものはどれか。 （2024年 栃木県公立入試 類似）			
	1. 第二次世界大戦直後の食糧不足を解消するための農地改革において、農業の大量使用による土壌汚染が全国で発生した。	2. 1990年代のバブル経済崩壊後、大量の産業廃棄物が不法投棄され、生活環境の悪化が深刻な問題となった。	3. 重化学工業を中心とした高度経済成長により、経済は豊かになったが、工場排煙や排水による住民の健康被害が激増した。	4. 明治時代の富国強兵政策のもとで、鉱山から流出した有害物質が流域の農作物や住民に被害を及ぼした。
問12	1947年に制定された法律で、戦前の教育勅語に代わり、個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間の育成を教育の目的として掲げたものは何ですか。 （2026年 栃木県公立入試 類似）			
	1. 教育基本法	2. 義務教育国庫負担法	3. 国家総動員法	4. 男女雇用機会均等法

答え合わせ・解説

問1	答え 2 北海道のアイヌ民族	バードは当時の「未開の地」を探索することに情熱を注いでおり、特に北海道に住むアイヌ民族に対して強い関心を持ちました。彼女はアイヌの人々の生活に密着し、その豊かな精神文化や伝統を克明に記述しました。選択肢にある沖縄や小笠原も日本の歴史において重要な地域ですが、彼女の代表作である『日本奥地紀行』における主要な調査対象は北海道のアイヌ民族です。
問2	答え 3 一人ひとりの人間を多様な脅威から守るとともに、その人が能力を十分に発揮できるよう支援する考え方。	従来の安全保障が「国家」という枠組みを守ることを目的としていたのに対し、この考え方は「個人の尊厳」に焦点を当てています。紛争などの直接的な暴力だけでなく、貧困や疾病といった生活を脅かす要因を取り除き、教育などを通じて人々が自立して生きていける力を育む（エンパワーメント）ことを重視しています。
問3	答え 1 大阪市	大阪市の気温と降水量の推移を見ると、冬はシベリア気団からの北西の季節風が中国山地を越える際に水分を失うため、太平洋側の地域と同様に降水量が極めて少なくなります。一方で、夏は小笠原気団からの湿った空気が四国山地を越えてくるため、梅雨や台風の影響で一定の降水が見られますが、年間を通じれば全国的には雨が少ない部類に入ります。1月の平均気温が氷点下にならない点や、冬に降水が集中しない点が他の都市との判別基準となります。
問4	答え 2 公共交通機関の混雑により、住民が通勤や通学のためにバスや電車を日常的に利用することが困難になること。	観光客の急増は、地域住民が日常的に利用するバスや鉄道の混雑を招き、生活の足を奪う原因となります。このほか、騒音やゴミのポイ捨て、マナー違反なども、住民が感じる代表的な生活上のデメリットであり、これらを解決するために観光客の分散やマナー啓発などの対策が求められています。
問5	答え 4 五箇条の御誓文	明治天皇が1868年に、公卿や諸大名を前にして神々に誓うという形式で発表したのが「五箇条の御誓文」です。これは新しい政治の基本方針を示したもので、海外との交流を深めることや、古い慣習を打破することなどが盛り込まれていました。教育勅語は明治時代の中期に発布された教育の指針であり、王政復古の大号令は新政府の成立を宣言したもので、それぞれ役割が異なります。
問6	答え 2 約70パーセント	地球は「水の惑星」とも呼ばれるように、その表面の大部分が海洋で覆われています。地球全体の表面積を10とした場合、陸地と海洋の面積比はおおよそ3対7の割合になっており、海洋が占める割合は約70パーセントに達します。
問7	答え 3 価格競争がなくなること、価格が高止まりしたりサービスの質が低下したりするため、公正取引委員会が企業の不正な契約を監視している。	独占やカルテルによって競争が失われると、企業は努力しなくても利益を得られるようになり、技術革新の停滞や価格の上昇を招きます。これは消費者の生活を圧迫する大きな問題です。この状況を是正するために、独立性の高い「公正取引委員会」という行政委員会が、独占禁止法に基づいて市場を監視し、違反行為に対して排除措置命令や課徴金の納付命令などの是正措置を行っています。
問8	答え 2 自作農を増やして、農村における封建的な人間関係を打破し民主化を促すため	戦前の農村では、地主が高い小作料を取って小作農を支配する封建的な仕組みが残っており、これが軍国主義の土壌になったと指摘されました。農地改革によって自作農を創出することで、農民の経済的・社会的地位を向上させ、農村の民主化の基礎を築くことが最大の目的でした。
問9	答え 2 秩禄処分や廃刀令によって特権を失った士族たちの不満が、西郷隆盛を担ぎ出す形で爆発した。	明治政府が進めた四民平等や徴兵令、武士の給料を打ち切る秩禄処分、帯刀を禁止する廃刀令などは、武士（士族）の特権を奪うものでした。これに対する不満が各地で士族の反乱を招き、その最大規模のものが西南戦争です。この敗北によって、武力による政府打倒は困難であると悟った士族たちは、自由民権運動という言葉による政治闘争へと活動の場を移していくこととなります。
問10	答え 3 明治政府による同化政策や開拓が進む中で、変容する前のアイヌ民族の伝統的な生活様式を外部の視点から記録したから。	明治時代、政府は北海道の開拓を推進し、アイヌ民族に対して日本語の使用や農業への転換を強いる同化政策を行いました。これによりアイヌ独自の言語や生活習慣が失われつつある時期に、バードは彼らの元を訪れ、客観的な第三者の視点からその文化を記録しました。彼女の活動は、政策によって急速に変化を迫られたアイヌ民族の本来の姿を知るための貴重な歴史的証言となっています。
問11	答え 3 重化学工業を中心とした高度経済成長により、経済は豊かになったが、工場排煙や排水による住民の健康被害が激増した。	戦後の日本は、1950年代半ばから1970年代初頭にかけて「高度経済成長」を遂げ、世界有数の経済大国となりました。しかし、当時は企業の生産活動が優先され、適切な環境対策が不十分だったため、四日市ぜんそくや水俣病といった深刻な公害が発生しました。こうした人命に関わる事態を解決し、環境を保護するために公害対策基本法が制定されました。
問12	答え 1 教育基本法	教育基本法は、日本国憲法の花の精神にのっとり、民主的な国家および社会の形成者を育成するために制定されました。この法律の制定により、義務教育の9年制（6・3制）や男女共学といった現代の日本の教育システムの基本原則が確立されました。